

東京湾海況情報 25-7

東京湾水質調査結果 (平成25年10月)

(平成25年10月15日発行)

千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 〒 293-0042 富津市小久保3091
 TEL 0439-65-3071
 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp
 千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 10/7：内湾(わかふさ)、内房海域(ふさみ丸)
 関東・東海海況速報(10/7)、東京湾口海況図(10/7)
 モニタリングポスト(10/7：国土交通省関東地方整備局)
 千葉県環境研究センター(10/8)、国立環境研究所(10/8)、東京都環境局(10/10)

【 水温・塩分の状況 】

内湾の表層水温(図1)は23℃前後で、昨年同時期に比べて約1℃高くなっています。塩分はおおむね30~32PSU台で、千葉県側では平年より高めになっています。また、縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図3)では、水温は表層から水深20m付近まではほぼ一様に布していますが、塩分は成層状態を示しています。

一方、内房海域の表層水温はほぼ22℃台後半~25℃台前半で、金谷から剣埼を結ぶライン以南では沖合系水と思われる水塊がみられています。

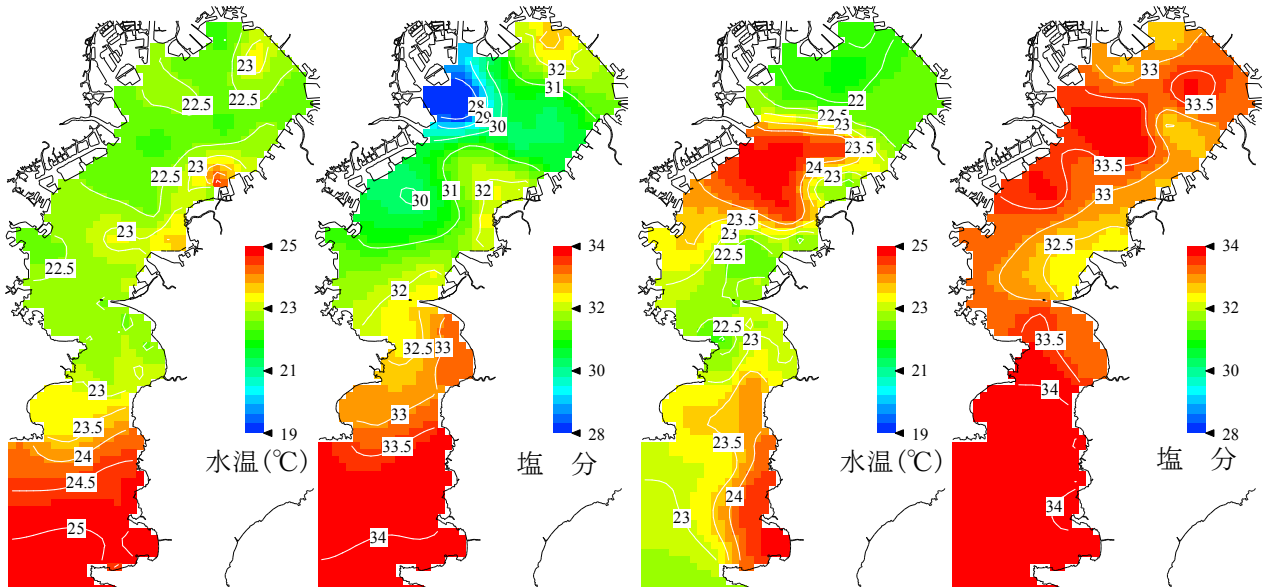


図1 水温・塩分分布(表層)

図2 水温・塩分分布(底層)

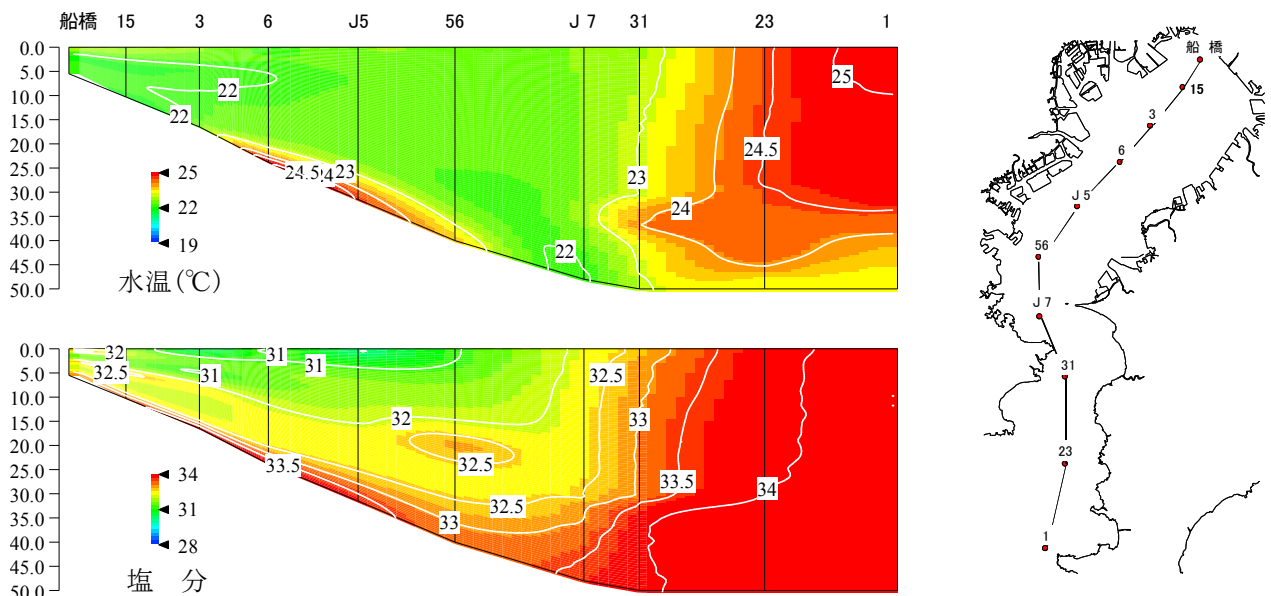


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布(上：内湾、下：内房海域、右：調査ライン)

【 赤潮の状況 】

赤潮は全域で発生していません。

プランクトンは少なく、ケイ藻のタラシオンシラ (*Thalassiosira* sp.) やシュードニッチア (*Pseudo-nitzschia* spp.) などが内湾北部でやや多くみられる程度でした。透明度は内湾北部でやや低いところがみられますが、おおむね3m以上あり、水色も緑から黄緑色でした。

なお、保田から富浦にかけての周辺海域では非常に少ない状態でした。

これらはいずれも魚貝類に有害な種類ではありません。

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。

色	: オリーブ～褐色
酸素飽和度	: 150%以上
透明度	: 1.5m以下
pH	: 8.5以上
クロロフィルa	: 50 μ g/L以上

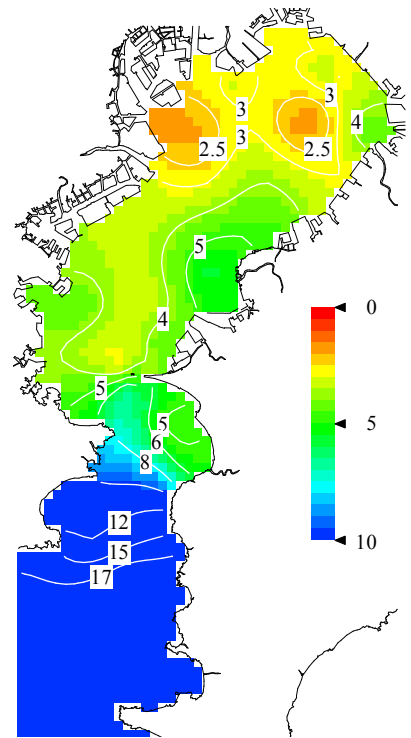


図4 透明度の分布 (m)

【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)は中央から北部海域で低下し、1ml/L以下のやや強い貧酸素水塊が北部海域の広い範囲で分布しています。

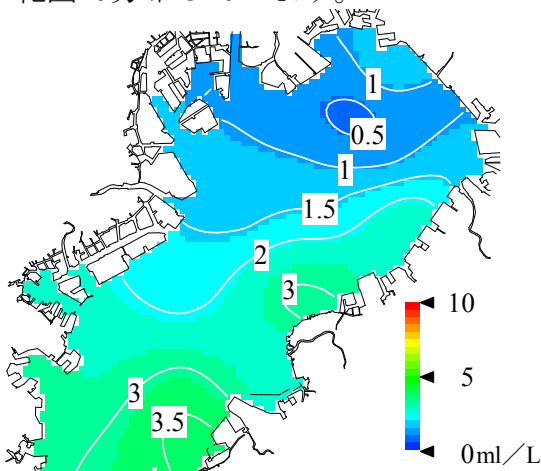


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

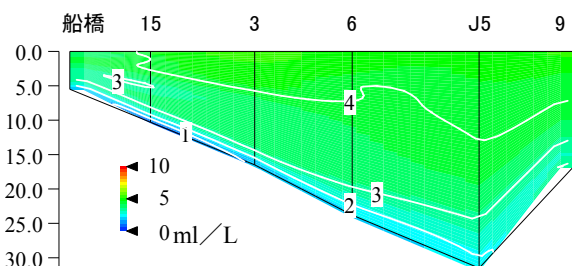


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L (酸素飽和度50%) 以下を貧酸素水塊としています。

【 栄養塩の状況 】

湾内の表層栄養塩(図7)は、溶存無機窒素(DIN)、リン酸態リン(PO_4-P)ともほぼ全域で平年並みからやや多くなっています。

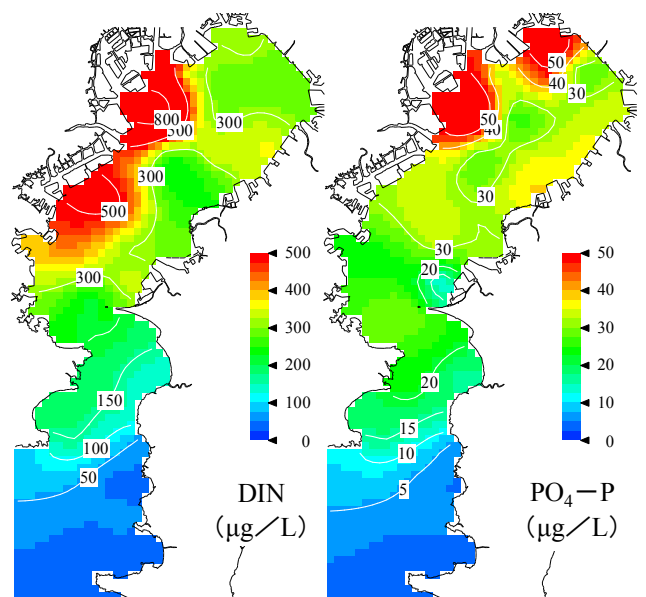


図7 栄養塩濃度の分布 (表層)

【黒潮の状況】

黒潮は依然変動し、その流軸は7日現在、青ヶ島南の31° 30' N付近まで南下した後、伊豆諸島東側を北上し、房総半島南東岸に接岸しながら北東方向へ流れています(図8)。これに伴って、大島東水道付近に25~26℃台の暖水がみられています。

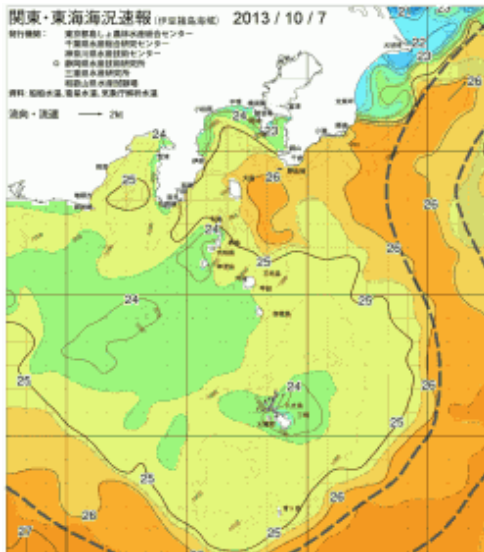


図8 黒潮の動き (平成25年10月7日)

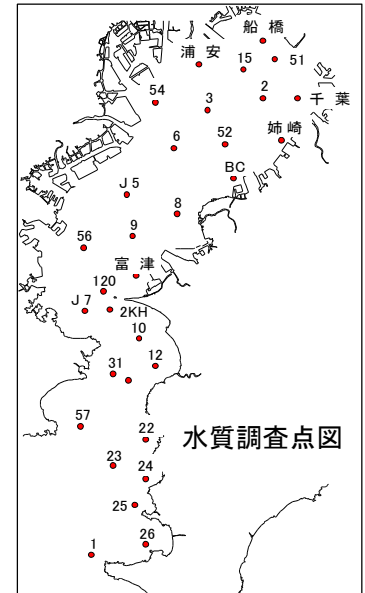


表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)
(): 最近10年間の平均値 (2003~2012年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	クロロフィルa (µg/L)
内湾	船橋	22.7 (22.3)	32.58 (30.11)	3.0 (2.2)	8.0 (8.3)	1.5 (2.7)	54 (68)	310 (232)	54 (33)
	st.15	22.5 (22.1)	31.75 (29.37)	2.8 (2.3)	8.2 (8.4)	0.4 (1.7)	28 (29)	279 (179)	48 (16)
	st.3	22.5 (21.8)	30.16 (28.79)	3.1 (3.1)	8.3 (8.4)	1.2 (1.4)	66 (57)	343 (359)	26 (24)
	st.6	22.0 (21.8)	31.10 (29.49)	3.0 (3.4)	8.3 (8.4)	1.6 (2.3)	51 (32)	272 (244)	29 (18)
	st.9	23.2 (21.8)	30.97 (29.75)	3.5 (4.6)	8.2 (8.3)	3.1 (3.4)	53 (35)	307 (218)	32 (20)
	st.BC (盤洲Cブイ)	24.6 (22.7)	32.08 (30.22)	4.8 (2.8)	8.1 (8.4)	2.9 (2.6)	34 (32)	250 (150)	37 (25)
	st.8 (盤洲A南)	22.6 (21.9)	31.31 (30.24)	5.8 (3.3)	8.2 (8.3)	2.4 (2.7)	56 (45)	274 (196)	30 (29)
	富津	22.6 (21.9)	32.13 (30.25)	4.5 (5.0)	8.1 (8.2)	3.6 (3.9)	148 (44)	334 (233)	11 (26)
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	22.6 (22.1)	32.41 (31.66)	6.5 (6.5)	8.2 (8.2)		51 (37)	214 (191)	28 (22)
	st.31	22.7 (22.4)	32.59 (31.65)	9.0 (8.8)	8.2 (8.3)		34 (25)	174 (145)	23 (16)
	st.23	24.4 (23.3)	33.87 (33.05)	19.0 (13.6)	8.2 (8.2)		13 (17)	34 (68)	5 (6)
	st.1	25.3 (23.6)	34.06 (33.38)	19.0 (16.2)	8.2 (8.2)		6 (17)	13 (39)	1 (5)
	st.10 (下洲沖)	22.8 (22.3)	32.75 (31.88)	5.0 (6.2)	8.2 (8.3)		47 (29)	173 (158)	23 (15)
	st.12 (湊沖)	23.0 (22.4)	33.25 (31.78)	5.5 (6.4)	8.2 (8.3)		32 (24)	116 (128)	15 (14)
	st.22 (保田沖)	24.4 (23.2)	33.88 (33.27)	17.0 (12.3)	8.2 (8.3)		10 (19)	28 (51)	4 (5)
	st.24 (富山沖)	24.7 (23.2)	33.92 (33.38)	18.0 (13.9)	8.2 (8.2)		8 (17)	20 (42)	2 (5)
st.26 (館山湾内)	25.1 (23.7)	34.04 (33.60)	18.0 (13.1)	8.2 (8.2)		8 (19)	19 (58)	2 (7)	

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。